

美浜発電所3号機2次系配管破損事故に係る当面の対策について

平成16年 8月27日
関西電力株式会社

平成16年8月9日に発生した美浜3号機2次系配管破損事故につきましては、現在、原因究明に向けて全力で取り組んでおります。また、運転中の原子力発電所について、順次停止し点検を実施しております。今後、再発防止対策について検討を進めてまいります。当面当社が取り組む対策を取りまとめましたのでご報告いたします。

なお、対策については今後さらに検討を深め、充実してまいります。

1. 労働安全の確保

2次系配管の健全性が確認されるまで原則として定検前作業準備を実施しない。やむを得ず作業が必要な場合には、防火服の着用等万全の措置を施すこととする。

2. 組織改正等

- (1) 社長が先頭に立って事故原因究明、再発防止対策に取り組むため、原子力事業本部長を社長とする。
- (2) 福井県に技術系役員が常駐し、技術的事項の的確な対応を行う。

3. 2次系配管肉厚管理の厳正化

(1) 2次系配管肉厚管理票の整備

スケルトン図（配管立体図）と原子力設備2次系配管肉厚の管理指針（PWR）（以下管理指針という）を照合し、肉厚管理が必要な箇所の管理票への反映状況を確認し、管理票を整備した。

(2) 2次系配管肉厚管理業務の見直し

2次系配管肉厚管理業務については、点検計画の策定や点検結果の評価において協力会社への依存度が高かったため、当社が直接管理指針に照らし確実に管理を行う。

(3) 2次系配管肉厚管理票の変更管理

2次系の設備改造工事を確実に2次系配管肉厚管理票に反映させるよう変更管理の仕組みを見直した上でルール化するとともに、点検箇所に抜けがないかについて定期的なレビューを行う。

4. 原子力保全機能強化検討委員会の設置

今回の事故に鑑み、現行の保全体制の課題を整理し、メーカ等を含む体制の再構築などを検討し、保全業務の高度化を目指すために、社内関係者（原子力以外を含む）及び社外有識者で構成する原子力保全機能強化検討委員会を設置する。

以上

美浜発電所3号機

2次系配管破損事故に係る当面の対策について

平成16年8月27日

関西電力株式会社

目 次

1. 労働安全の確保	1
2. 当面の組織改正等について	2
3. 2次系配管肉厚管理の厳正化	
3-1. 2次系配管肉厚管理票の整備	3-1
3-2. 2次系配管肉厚管理業務の見直し	3-2
3-3. 2次系配管肉厚管理票の変更管理	3-3
4. 原子力保全機能強化検討委員会の設置	4

- ・2次系配管の健全性が確認されるまで原則として定検前作業準備を実施しない。
- ・やむを得ず作業を実施する場合には、防火服の着用等、万全の措置を施すこととする。

当面の組織改正等について

2

原子力事業本部長について

社長が先頭に立って事故原因究明、再発防止対策に取り組むため、原子力事業本部長を社長とする。

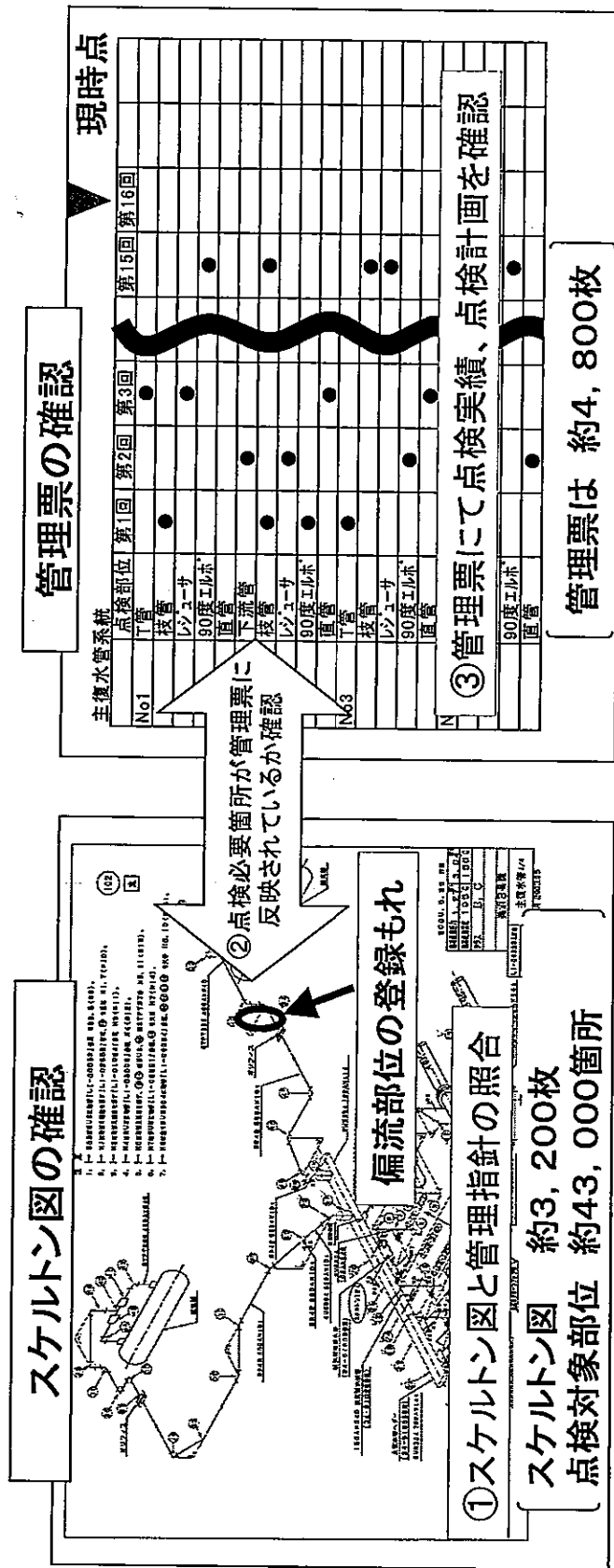
福井県常駐技術系役員について

福井県に技術系役員が常駐し、技術的事項の的確な対応を行う。

2次系配管肉厚管理票の整備

3-1

スケルトン図と管理指針を照合し、必要箇所が管理票に反映されていることを確認



*各数字は全ユニット分を示す

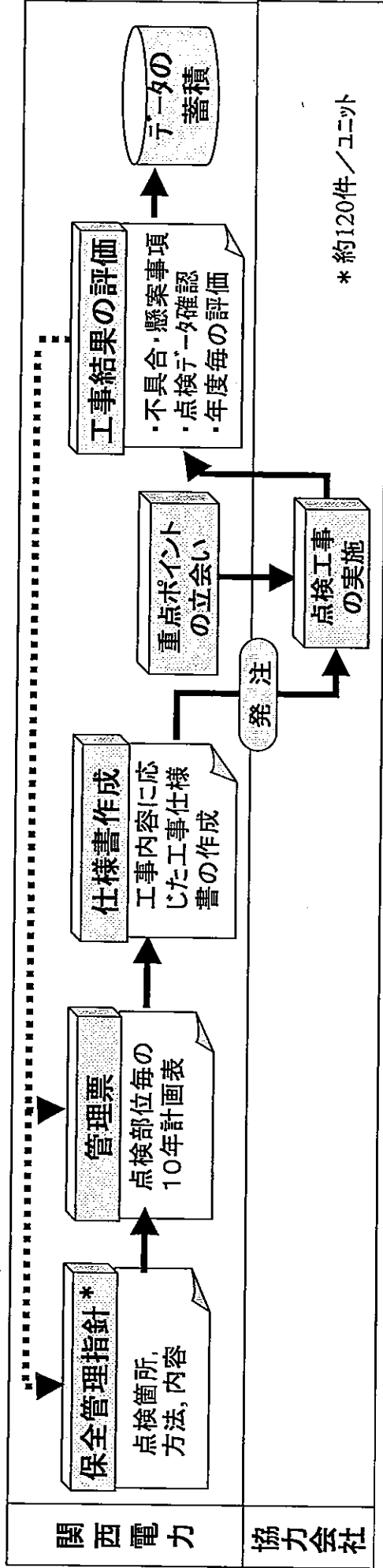
管理票の整備

2次系配管肉厚管理業務の見直し

3-2

○定期点検工事

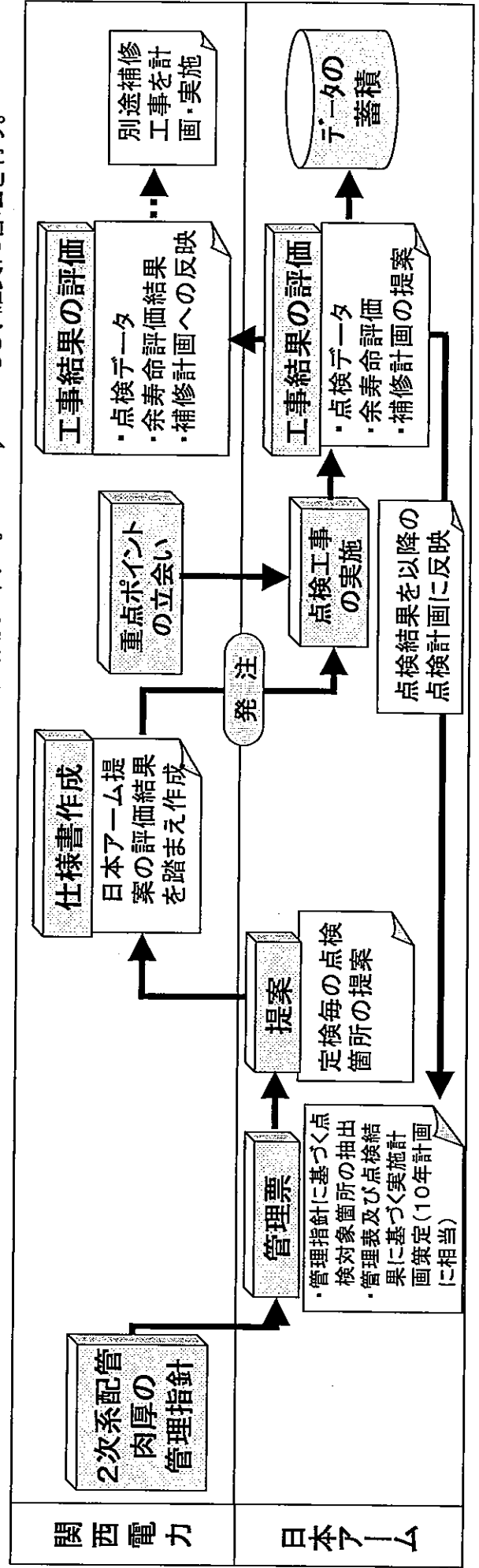
↑ 計画段階から評価段階に至るまで一貫して当社が確認、データ管理、システム維持、変更管理も当社が実施



○2次系配管肉厚管理

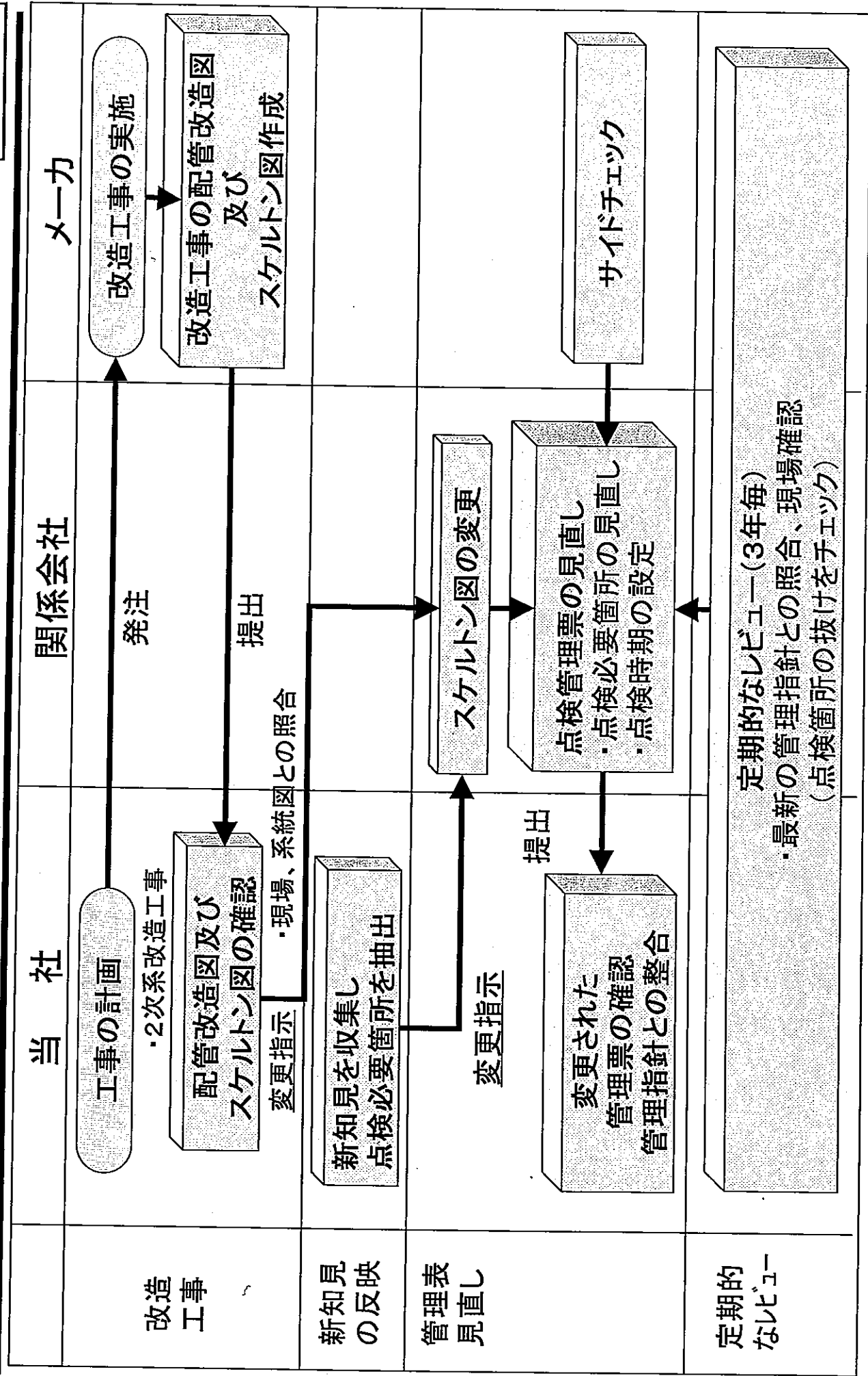
↑ 2次系配管肉厚管理業務については、点検計画の策定や点検結果の評価において協力会社への依存度が高い。

↑ 今後は当社が直接管理指針に照らし、確実に管理を行う。



2次系配管肉厚管理票の変更管理

3-3



原子力保全機能強化検討委員会の設置

- ・ 現行の保全体制の課題を整理し、メーカー等を含む体制の再構築などを検討し、保全業務の高度化を目指すために、原子力保全機能強化検討委員会を設置する。

